

特別会計予算額

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険事業	129億6,700万円	-2.2%
競輪事業	328億6,700万円	+3.4%
公共用地 先行取得事業	100万円	0%
地方卸売市場事業	4,500万円	+2.3%
介護保険事業	138億6,200万円	+1.9%
後期高齢者医療	21億2,600万円	+2.0%
合計	618億6,800万円	+1.8%



一般会計歳出

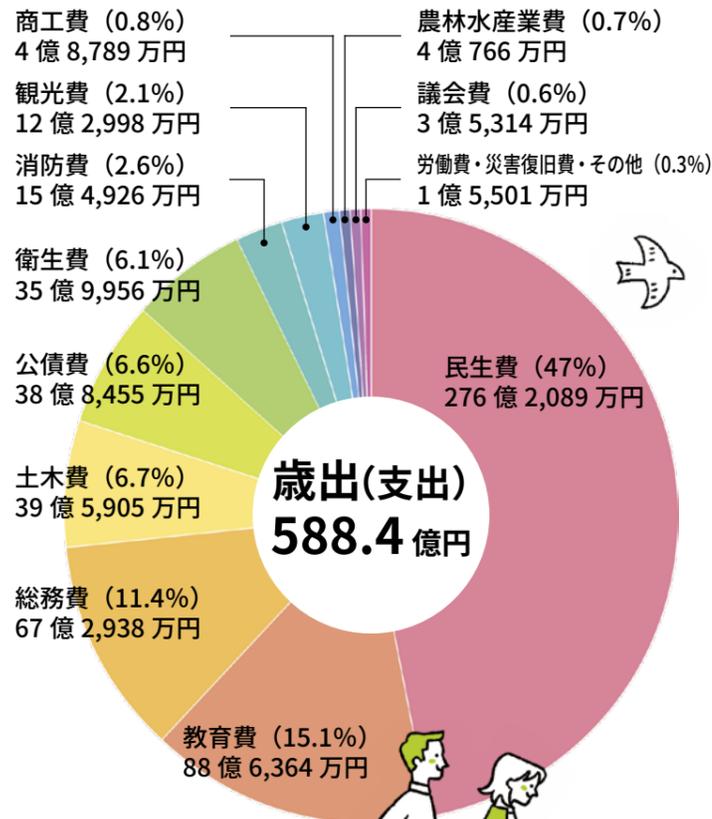
区分	用語の説明
民生費	社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などにかかる経費
教育費	幼稚園・小・中学校教育、社会教育、スポーツ振興などにかかる経費
総務費	市役所の管理や全般的な事務などにかかる経費
土木費	道路、街路、公園整備、海岸整備などにかかる経費
公債費	市債の返済にかかる経費
衛生費	健康増進、ごみ処理、環境保全などにかかる経費
消防費	消防や防災対策などにかかる経費
観光費	観光振興、温泉管理などにかかる経費
商工費	商工振興などにかかる経費
農林水産業費	農林水産業振興などにかかる経費
議会費	市議会の運営などにかかる経費
労働費 災害復旧費 その他	消費者・勤労者対策、災害復旧などにかかる経費、その他の経費

一般会計予算を 市民一人あたりに換算すると…

◎1年に納める市税
13万715円 (前年度比 + 3,885円)

◎1年に使われるお金
52万749円 (前年度比 + 25,254円)

※それぞれ令和5年3月31日現在の人口112,991人で算出



入湯税超過課税分の使途

(別府市観光みらい創造基金繰入金)

使途	金額
温泉資源の保護、確保	1,974万円
観光客の快適性確保(ストレスフリー)	1,848万円
観光客の安全・安心の確保	2,451万円
観光客を増加させるための事業推進	2,704万円
観光客の受入体制の充実	1,012万円
合計	9,990万円

入湯税の超過課税分は、温泉資源の保護や観光客の受入体制の充実などに使われます。

令和5年度 別府市の予算と事業

3月の市議会定例会で、別府市の令和5年度予算が決まりました。令和5年度は、市民一人ひとりの幸せのために、こども政策の推進、認知症対策・健康寿命の延伸、防災対策の推進、経済対策・観光振興などの各施策をきめ細やかに市民と寄り添いながら取り組むための予算を編成しました。

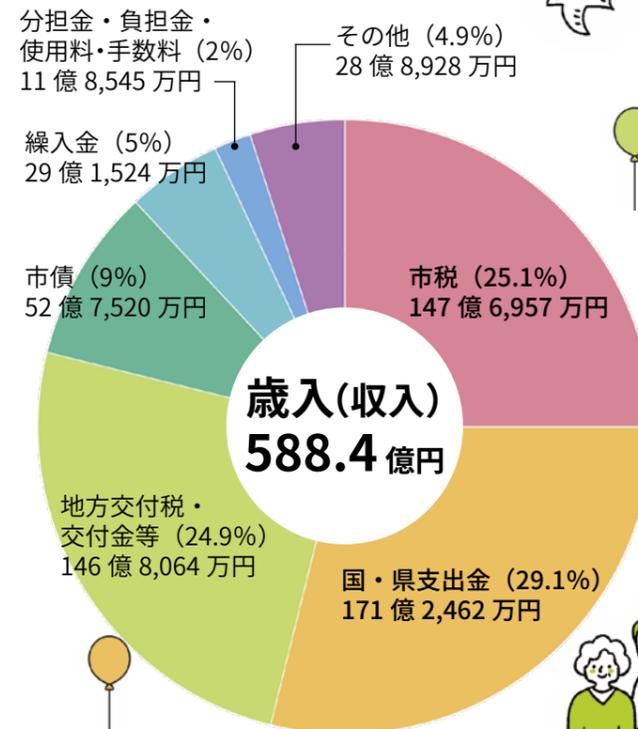
◎ 財政課 ☎ 21-1243

※表示している単位未満を四捨五入していますので、内訳の合計金額と総計が一致しない場合があります。



一般会計歳入

区分	用語の説明
市税	皆さんからお預かりした税金(市民税や固定資産税など)
国・県支出金	使い方が定められている国・県からの負担金・補助金・委託金
地方交付税交付金等	使い方が定められていない地方交付税や国・県からの各種譲与税・交付金など
市債	市が国や銀行などから借りる長期借入金
繰入金	特定の目的のために資金の積み立てを行う各基金などから繰り入れるお金
分担金・負担金 使用料・手数料	保育料・ごみ処理手数料など 皆さんに負担していただいた収入



当初予算の規模

一般会計
588億4,000万円
(前年度比 +5.4%)

特別会計
618億6,800万円
(前年度比 +1.8%)

◎特別会計
競輪事業が開催日数の増加等により増額となるなど、全体として前年度比10億8,300万円の増額(1.8%)となっています。

◎一般会計
統一地方選挙を控えていますので、骨格予算(※)で編成されていますが、継続中の学校給食共同調理場、小中学校等体育館空調整備事業及び総合体育館改修事業を計上していることに伴い、前年度比で30億2,000万円(5.4%)の増額となっています。
※人件費など義務的な経費を中心に計上した予算

令和5年度の 当初予算は？

当初予算の概要



入湯税充当明細

充当先事業	金額
衛生費	2,386万円
じんかい処理費	2,306万円
し尿処理費	80万円
観光費	3億3,799万円
別府市観光みらい創造基金積立金(入湯税超過課税分)	1億4,433万円
観光客誘致事業	6,716万円
観光施設費	6,360万円
温泉施設費	6,291万円
消防費	4,091万円
消防施設費	4,091万円
合計	4億276万円



重点事業

まちの創生 ～ひととまちをまもり、地域と地域が連携する取組～

小中学校等体育館空調整備事業 12億9,870万円

子どもたちの熱中症対策及び避難所の環境改善を目的として、全26施設の体育館に空調設備を整備します。



総合体育館改修事業 4億932万円

平成15年開設から20年近く経過していることから、大規模改修を行い、利用者の安全性と利便性の向上に努めます。

持続可能な温泉資源活用事業 2,230万円

中長期的な別府市全体の温泉に関するマネジメントを目的に、現状の各調査、分析を基礎に官民共有の将来像を想定し計画を策定します。

個別避難計画作成事業 907万円

避難に支援が必要な人に対して、災害から命を守るための個別避難計画を作成します。

認知症予防教室開催事業 261万円

認知機能低下がある人に対し、ICTを活用して認知機能をチェックし、日常生活で取り組めることを学ぶ認知症予防教室を開催し、認知症を予防する生活習慣（食事・運動・口腔ケア）及び認知機能向上を図ります。

ひとの創生 ～ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる取組～

学校給食共同調理場建替事業 27億4,243万円

安全安心な学校給食の提供を最優先に衛生管理基準及びHACCPの概念に基づく施設整備・運営を行うため新学校給食共同調理場を整備し、今年度9月から提供を開始します。



学校給食費・保育所等給食費保護者負担軽減事業 2億3,622万円

子育て世代の経済的負担軽減と本市への移住・定住を目的として、給食費を負担する保護者に対してその半額または全額を補助します。

重層的支援体制整備事業 1,319万円

属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施することにより、地域住民の複雑化・複合化した、支援ニーズに対する包括的な支援体制を整備する、重層的支援体制整備事業の実施に向けた準備を行います。

子ども見守りシステム構築事業 2,396万円

支援を必要とする子ども一人ひとりに、乳幼児期から成人する時期まで、切れ目なく適切な支援を行うため、各部署等が保有する子どもに関する情報を一元化するシステムを構築します。

医療的ケア児等支援事業 194万円

医療的ケア児等の支援体制を整備するため、協議の場を設置し、地域全体の医療的ケア児等とその家族が直面する課題及びその対応策の検討を行います。

不登校児童生徒支援事業 1,951万円

学校に登校しづらい状況にある児童生徒への支援を充実させることによって、誰一人取り残さない全ての学びを保障し、豊かな人生を送るための社会的自立を目指します。

しごとの創生 ～新しいひとの流れをつくり、受け入れ、儲かる別府に進化する取組～

別府ONSENアカデミア事業 1,200万円

過去5回開催してきた「別府ONSENアカデミア」で培われた研究成果の継承、発展及び「免疫力日本一宣言」の取組として、引き続き腸内細菌検査などを行います。



ユニバーサルツーリズム推進事業 450万円

全国のバリアフリーツアーセンターを招聘した講演会や基盤整備、モニターツアーなどを実施し、高齢者や障がいのある人を中心としたユニバーサルツーリズムを推進します。

入湯税超過課税分活用事業(観光部門) 8,015万円

外国人観光案内所の運営や観光マーケティング育成事業、観光地の景観維持など観光客に対する①快適性の確保②安全安心の確保③誘致事業④受入体制の充実に資する施策を実施します。

その他主な事業

まちの創生

■図書館等一体的整備事業 (1億9,060万円)

別府市新図書館等整備基本計画に基づき、地域課題の解決や市民一人ひとりの自己実現に資するため、新図書館等複合施設の建設工事に着手します。



■別府公園周辺道路整備事業 (2300万円)

都市構造再編集中支援事業として、新図書館の整備に合わせて、別府公園周辺の歩行空間の形成等、動線の整備を行い、利用者の利便性の向上及び快適な歩行空間の創出を図ります。

■ひとまもり・まちまもり支援事業(2000万円)

地域が連携・協働し、共通の課題を解決するひとまもり・まちまもり協議会の取組を支援することにより、中規模多機能自治の推進を図ります。

■認知症対策事業 (708万円)

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「共生」と「予防」を重視し、認知症の体験型講座と個人賠償責任保険事業を実施します。

■みんなで健活ポイント事業 (3478万円)

活動量計、携帯電話のアプリ、体組成計を使い、歩数や体組成の測定により自身の身体の状態を数値化し、運動、食事、睡眠等の教室参加や個別健康指導を受け望ましい生活習慣を目指します。

■防災備蓄倉庫整備事業 (9514万円)

内蔵多目的広場内に防災備蓄倉庫を新築します。

■防災無線整備事業 (5072万円)

無線の二重化(MCA・IP)を行うことにより、火山

災害や地震津波災害といったあらゆる災害に対して、通信途絶等の回避を行い、円滑な情報伝達を可能とします。

ひとの創生

■食物アレルギー対応給食調理場整備事業 (4111万円)

安全・安心な学校給食の提供のために、食物アレルギーに対応した学校給食を市立学校の児童等へ提供します。



■学校いきいきプラン支援員配置事業 (9232万円)

幼稚園・小中学校に特別な支援を必要とする園児・児童・生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適

切な支援を行います。

■重度障害者等就労支援特別事業 (2449万円)

雇用施策と福祉施策が連携し、重度障がい者等へ通勤支援や職場等における支援を実施することで、重度障がい者等の就労継続やその機会を創出します。

■放課後児童クラブ送迎事業 (262万円)

待機が発生している放課後児童クラブの児童を対象として、定員に余裕のあるクラブへの送迎を実施して、受入れを確保します。

■子育て短期支援専用人員配置支援事業 (600万円)

子育て短期支援事業の利用者数が増加する中、安定的な提供体制を整備するため、実施団体が専従職員の配置に要する費用の支援を行い、子育て短期支援の利用を促進します。

■日本語指導員配置事業 (272万円)

外国人児童生徒等が在籍する学校(園)に日本語指導員を配置し、学校生活への適応支援や日本語指導を行うとともに、受け入れ体制の構築を進めます。

■就学前教育・保育ビジョン策定事業(311万円)
就学前教育や保育の質を高めるとともに、将来を見据えた望ましい姿を検討するため、「就学前教育・保育ビジョン」を策定します。

くらしの創生

■文化芸術による持続可能な地域づくり事業 (2274万円)

アーティスト・クリエイターの移住にかかる施策を実施し、関係人口の増進や、地域等の課題解決と文化・芸術観光の情報発信等を行います。

■創業支援事業(400万円)

起業・創業を後押しする創業支援補助金を助成して新たな創業者を支援します。

